

ふくしえんだより

発行責任者 今野正孝

第75号

【旭川福祉園】〒070-0901 旭川市花咲町1丁目2232番地

事務局 TEL(0166)53-5781・FAX(0166)51-2409／支援員直通 TEL(0166)54-8553・FAX(0166)54-8559

【障害者支援センターきたのまち】TEL(0166)38-1001・FAX(0166)38-1002



旭川旭親会【<https://kyokushinkai.or.jp/index.html>】
きたのまち【<https://kyokushinkai.or.jp/kitanomachi.html>】

主な記事

●理事長よりあいさつ·····	2	●各事業所の紹介（生活介護）·····	6
●各役員紹介·····	2	●各事業所の紹介（グループホーム）·····	7
●助成金関係·····	3	●2024年のできごと·····	7
●決算報告·····	3	●寄付金・寄贈品·····	8
●きたのまちより·····	4	●新任職員紹介·····	8
●各事業所の紹介（就労継続支援B型）·····	5	●編集後記·····	8

新年のごあいさつ

社会福祉法人 旭川旭親会

理事長 今野正孝

謹んで新春のお喜びを申し上げます

昨年は当法人に多大なるご支援、ご協力を賜り、心より感謝申し上げます。本年の日年は復活と再生の年、新しいコトが始まることと言われています。蛇が脱皮を繰り返す如く「復活と再生」により、新しい挑戦や変化に対する前向きな姿勢を意味します。

この度、令和六年度農山漁村振興交付金（農山漁村発イノベーション対策・農福連携型）の交付決定をいただき、念願の食品加工場の施設整備に着工することができました。令和七年二月には、完成し引き渡しを受ける予定であります。前の食品加工場を持つことで、新しい商品の開発が、より自由にタイムリーな取り組みができるようになり、生産性を上げることに寄与することと思います。

さらに三年間にわたり、農山漁村発イノベーション推進事業により新しい商品の開発・既存商品の改良、販路の拡大にむけた事業費もいただくこともできました。

私たちは、もとより、農業を中心的に知的・発達障害のある方々の支援を「生産と就労」の視点から、もう一方では「自閉症スペクトラムの方々に専門的支援」を目指して日々努力をしているところです。農業はすそ野の広い事業でもあり、多くの利用者の方々が挑戦できる業種であります。

スタッフ一同しなやかな発想で、この交付金を上手く活用することで、六次産業化をさらに押し進める考えであります。

本年も引き続き地域社会に根差し、知的・発達障害のある方々の福祉の充実を目指して、より一層の努力を重ねてまいります。そして私たちの支援を必要とする方々にとって、より良い生活を送れるように努める所存です。また、引き続き農福連携を中心に地域との連携を強化し、さまざまな分野との協力を深めることで、持続可能な社会づくりを目指してまいりますので、本年も変わらぬご支援、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

結びとして、新しい年が皆様にとりまして、より素晴らしい年となりますよう、心よりお祈り申し上げます。

社会福祉法人 旭川旭親会

旭川福祉園保護者の会

理事長 今野正孝

世話人 富倉博信

理事 中田英作

世話人 杉田保憲

理事 生駒雅彦

世話人 藤岡雅恵

理事 山田弘子

世話人 増井智子

理事 濱田一康

世話人 丸山正義

理事 煙山千賀子

世話人 根本瑠美

監事 加藤 隆

副会長 井内侑花

評議員 山崎與吉

会長 阿部泰輔

評議員 稲田公要

会計 鈴木直土

評議員 湯野信一

会計 田井竜人

評議員 萩原 拓

会計 美化委員長 田井竜人

評議員 高野祐子

会計 行事委員長 上林昌人

評議員 加藤優樹

会計 富倉美由紀

評議員 鈴木太郎

会計 監査

交付金内容

現在、農林水産省より、令和6年度農山漁村振興交付金事業の交付決定を受け、農山漁村発イノベーション対策事業（農福連携型）を行っています

交付事業内容

交付金対象事業 令和6年度農山漁村振興交付金

（農山漁村発イノベーション対策事業（農福連携型））
交付総額 27,989,000円

事業内訳

『令和6年～8年度事業』

農山漁村振興推進交付金農山漁村発

イノベーション推進事業（農福連携型）

交付金額 2,989,000円

事業内容

- ・先進地視察による情報収集

- ・大学や研究機関との連携調整

- ・栽培技術の習得

- ・新しい商品の開発

- ・加工技術の習得に向けた実務研修

等



『令和6年度事業』

農山漁村振興整備交付金農山漁村発

イノベーション整備事業（農福連携型）

交付金額 25,000,000円

事業内容

- ・食品加工場の整備（新築工事）

- ・食品加工場内機器整備

事業場所

旭川市東旭川町下兵村425番1、

426番1～2

加工場概要

木造1階建 87.22m²



補助事業内容

補助金対象事業
補助金額 149,479円

事業完了日 令和6年8月22日



令和5年度 決算報告

社会福祉法人 旭川旭親会

（単位:千円）貸借対照表の要旨 令和6年3月31日現在

科目	金額	科目	金額
資産の部		負債の部	
流動資産	321,517	流動負債	34,676
固定資産（基本財産）	541,051	固定負債	167,666
固定資産（その他の固定資産）	248,189	負債の部合計	202,342
		純資産の部	
		基本金	30,065
		国庫補助金等特別積立金	197,937
		その他の積立金	197,248
		次期繰越活動増減差額	483,165
		純資産の部合計	908,415
資産の部合計	1,110,757	負債及び純資産の部合計	1,110,757

資金収支計算書の要旨

（自）令和5年4月1日 (至) 令和6年3月31日現在

科目	金額
就労支援事業収入	46,894
就労支援事業支出	46,697
就労支援事業活動収支差額	197
事業活動による収入	418,933
事業活動による支出	327,912
事業活動資金収支差額	91,021
施設整備等による収入計	49
施設整備等による支出計	350
施設整備等資金収支差額	-301
その他の活動による収入	0
その他の活動による支出	19,557
その他の活動資金収支差額	-19,557
当期資金収支差額合計	71,360
前期末支払資金残高	224,980
当期末支払資金残高	296,340

事業活動計算書の要旨

（自）令和6年3月31日現在

科目	金額
就労支援事業収益	46,894
就労支援事業費用	46,894
就労支援事業活動増減差額	0
サービス活動収益	416,357
サービス活動費用	352,682
サービス活動増減差額	63,675
サービス活動外収益	2,575
サービス活動外費用	1,502
サービス活動外増減差額	1,073
経常増減差額	64,748
特別増減収益	49
特別増減費用	0
特別増減差額	49
当期活動増減差額	64,797
前期繰越活動増減差額	435,593
当期末繰越活動増減差額	500,390
その他積立金取崩額	0
その他積立金積立額	17,225
次期繰越活動増減差額	483,165

上川中南部障害者就業・生活支援センターきたのまち

センター長 垣内 中 明

新年あけましておめでとうございます。

当センターは平成二十一年四月より北海道と北海道労働局の委託を受け、上川中南部（二市十二町一村）を活動圏域に現在九名のスタッフで運営しています。

就職に関しては二〇二四年四月から、障害者の法定雇用率が引き上げられ、障害のある方の社会における活躍の機会が増えしております。また、少子高齢化による人材不足の解消という観点での二ーズも高まっております。今年もハローワーク旭川、北海道障害者職業センター旭川支所等と連携しチーム支援としての体制を構築して支援にあたります。

一人でも多くの相談者が就職、また長く職場に定着できるよう就業、生活面での一体的な相談支援を行つていきたいと思います。本年もよろしくお願いいたします。

北海道発達障害者支援道北地域センターきたのまち

副センター長 富士本 百合子

今年度のセンターの実績は下記の通りです。

今年度は道東センターがノットといふ名称で新設しました。それに伴い、道内のセンターのあり方を検討する会議を継続しております。本年もよろしくお願ひいたします。

事業内容	実績
発達支援	実支援人數 73人
	延支援件数 286件
就労支援	実支援人數 6人
	延支援件数 7件
研修会関係	主催・共催 2回(127人)
	講師派遣 7回(287人)
	自立支援協議会等の参加 18回
	連絡協議会への参加 18回

【令和6年4月1日～12月31日の活動報告】

	身体	知的	精神	発達	難病	高次脳	その他	合計
登録者数	44	520	159	93	3	1	13	833
新規求職者数	2	39	10	3	0	1	1	56
相談支援件数	221	2,159	1,345	294	0	17	35	4,071
職場実習研修	0	34	8	2	0	0	0	44
就職件数	2	53	13	4	0	1	0	73
職場定着支援	36	652	167	15	0	3	1	874

【令和6年4月1日～12月31日の活動報告】

きたのまち相談支援事業所

管理者 島倉 千香絵

新年あけましておめでとうございます。

きたのまち相談支援事業所では、指定特定相談支援事業・指定一般相談支援事業・指定障害児相談支援事業をしております。日頃より、ご家庭へのモニタリング訪問にご協力をありがとうございます。

昨年の二〇二四年には六年に一回の「障害福祉・介護・医療」制度のトリプル改定がありました。今後も変化をしていく制度や環境を把握して、地域の課題に取り組み、福祉サービスを利用する方々が安心して過ごせるように努めています。

本年もどうぞよろしくお願ひいたします。



きたのまちジョブリハセンター

センター長 大 泉 加 奈

新年あけましておめでとうございます。

きたのまちジョブリハセンターでは、現在四十四名の方が登録されています。一日おおよそ十名の方が利用されています。今年度は、メンバーハジヨリハセントーであります。この希望により七月にノロッコ号に乗って富良野方面に日帰りで行つきました。その他の活動としてマルチメディア教室を新しく活動に取り入れ、自分たちでジョブリハセンターのホームページを制作しています。今年度中の公開に向けて取り組んでいます。

これからもメンバーの希望する活動や作業を取り入れながら楽しく安心して利用できるように努めています。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

旭川市職親会

事務局 垣内 中 明

新年あけましておめでとうございます。

旭川市職親会は、障がいを持つ方々の就職と職場への定着を支援し、共に働き、共に暮らすことを願う様々な職種の事業主を中心とした団体です。全道で十四ヵ所ある職親会の中でも旭川市職親会は最も古く伝統と歴史のある職親会で、現在百三十五名法人・個人の会員様のご協力・ご賛同をいただきまして社会福祉法人旭川旭親会、障害者支援センターきたのまちが中心となつて運営しております。

今年度は二年に一度の役員改選が行われ、新体制でのスタートとなりました。十九年ぶりに会長が変更となり、長年ご尽力いただいた役員の方々の退任、新役員の方々の着任等その他の職位の変更が行われました。

また例年通り「総会・優良従業員表彰式、祝賀会」、「障がい者激励会」、「職場訪問研修会」といった行事を無事開催することができました。十月三日に職場訪問研修会(北海道障害者職業能力開発校)、十月十二日に障がい者激励会(パークゴルフ)を実施し、多くの会員の皆様にご参加いただき心より感謝を申し上げます。

今後も、一人でも多くの事業主の方、ならびに趣旨にご賛同いただける団体および個人の方に会員となつていただけるよう活動いたします。

本年もどうぞよろしくお願ひいたします。



就労継続支援B型【旭川福祉園】

新年あけましておめでとうございます。新たな一年の始まりを迎えるにあたり、利用者の皆様、ご家族の皆様、地域の皆様、関係各位の皆様に深く感謝申し上げます。

新型コロナやインフルエンザなどのウイルスとの共存は続いておりますが、昨年は研修旅行、ふくしえん祭り、収穫祭等の各種イベントを開催することができました。本年も利用者の皆様が楽しんで参加できる行事を企画して行きたいと思っています。

旭川福祉園では、利用者の皆様の工賃向上、社会参加、職域拡大、就職に向けた訓練等を目的に様々な仕事への参加が可能です。特に、施設外就労と農作業はより一層力を注いで行きたいと考えております。

已年の新春、健康と成功が皆様に巻き付く一年でありますように心よりお祈り申し上げます。

本年もよろしくお願ひいたします。

施設長 加藤 浩二



シルク印刷について

旭川福祉園の生産部門でもあるシルク印刷では、昨年同様に市内近郊のイベントや学校祭の開催が増え、イベントTシャツ等の受注も増加しました。

毎年11月頃から贈答用のタオルの印刷も増えています。またシルク印刷の業界では刷り手不足に陥っているなか、我が旭川福祉園では刷り手職人が奮闘し、昨年以上の売り上げに貢献することができました。シルク印刷の生産作業が増えることにより、利用者の皆様に印刷の段取りから袋詰め等の作業工程に携わっていただきました。利用者の皆様の協力のもと大量生産することが出来ています。

今後も利用者の皆様と一緒に協力し合い配分金向上へ繋げていきたいと思います。



支援係長 小林 康二



新年あけましておめでとうございます。
現在2年目を迎えた『就職科』ですが、昨年度就職した皆さんは順調に仕事を続け、日々励んでいます。悩みや課題を抱えている方もいますが、訪問や面談、時には企業と連絡を取りながら、定着できるように長期的な支援を行っています。

今年度は4月から12月末までに7名の方々が就職へと結びつきました。離職後に再就職を目指して入所して来た方や、新卒で入所して来た方、中でも長年旭川福祉園を利用していた方の就職は大きな挑戦であったと思います。今までと異なる環境の中で、戸惑いながらも働く姿は、生き生きと自信に満ち溢れています。「就職科で頑張りたい！」、「人生の最後に就職にチャレンジしたい!!」など就職者から良い刺激を受けて、新たな目標に向かって取り組む利用者の方が増えて来たことは、大変大きなメリットだと実感しています。今後も関係機関との連携を図りながら、一人でも多くの利用者の自立をサポートし、循環型の事業所としての役割を確立できるよう努めてまいりたいと思います。本年も引き続き、変わらぬご指導のほどよろしくお願ひいたします。

主幹 八代 瑞希

生活介護

【第二旭川福祉園】



謹んで新春のお慶びを申し上げます。

日頃より、当法人の活動に対しまして、温かいご支援とご協力を賜りまして、誠にありがとうございます。

本年もご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願ひいたします。

昨年の大きな動きとして、2月に「令和6年度農山漁村振興交付金」農山漁村発イノベーション整備事業・農山漁村発イノベーション推進事業の交付金申請を行い、5月に交付金交付候補者の選定、6/25日付けで承認を頂きました。現在は、整備事業にてトマトジュース等の食品加工場の建設（令和7年2月中旬完成予定）、3年間の推進事業にて、農福連携の先進的取組をされている企業の視察を行っております。

本年は、農産加工品の委託加工から自法人製造への転換、プランディングによる新商品の開発と販路拡大、工賃アップと利用者の生きがいづくり、障害者と地域農業等が連携することで、旭川市はもとより、東旭川地区の地域農業の活性化を目指し、農福連携に力を入れて参ります。

施設長 尾崎拓也

コミュニケーション支援

生活介護では、視覚的支援・表出コミュニケーション支援の拡充に取り組んでいます。

令和6年11月中旬には京都府から、オフィスボンスーパーバイザーの久賀谷洋氏をお迎えし支援について助言を頂きました。その助言をもとに支援内容を改善し日々取り組みを行っています。視覚的支援については主にスケジュール作成し、見通しを持って活動に取り組めるように提供をしています。PECS（絵カード交換式コミュニケーションシステム）を活用し、言語表出が難しい方に対し作業中や喫茶ぼんらでのお買い物など日常生活の中で絵カードを使用して自分の気持ちを表出できるようにサポートをしています。

利用者さんの意思を尊重した支援を提供するために、視覚的支援・表出コミュニケーションが重要です。そのためにも職員が研鑽を深め試行錯誤しながら取り組んでいく必要があります。今後もより利用者の皆様に充実した生活を提供していくように努めています。

支援係長 岡 佑太郎



● ★道北アーケス・
パワーズ店様にて★

月2~3回程度、当法人のしいたけやトマトジュース、ラーメン、生パスタなどの商品の販売を行っています。
SNSでもイベント情報をお知らせしています。
お近くにお越しの際は、ぜひお立ち寄りください。



HP

Instagram

facebook

グループホーム

新年あけましておめでとうございます。

グループホーム旭川旭親会では、男性用グループホームの「グループホーム東旭川」10名、女性用グループホームの「グループホーム花咲」4名、「グループホーム北野」6名の、計20名の方が入居し生活しています。

入居者の皆さんは普段は日中それぞれの事業所に通い、様々な活動に取り組まれています。

グループホームでは入居者の方々が楽しみながら日々の生活に彩りを加えられるようなイベントを行っています。その内、今年度行われた行事のいくつかを紹介します。



支援主任 佐藤 彰一

毎月行事食の日には特別な食事を提供していて、夏は焼肉・冬はクリスマス食等の行事食を食べています。今年も皆さんお腹いっぱいになるまで食べられています。



お花見



行事食

【クリスマス・焼肉】



★東旭川神社清掃



2024年のできごと

B型果物狩り



生活介護
果物狩り

1泊2日(帯広)



日帰り(名寄)

2泊3日(岐阜)



研修旅行



スポーツ交流会



卓球大会



福祉園まつり

